



公明党府議会議員団 団長
八重樫 善幸

不登校対策に万全の体制を!

大阪府の小中学校の不登校対策について(11月議会一般質問より)

大阪府の不登校の課題について

Q 近年の小中学校の不登校者数激増という大阪府の課題について大阪府教育庁はどう捉えているのか?

A (府教育長答弁)一旦不登校になると、翌年度以降も不登校の状態が続く傾向がみられ、小学校の不登校が中学、高校まで影響を与えることも懸念。小学校の段階から楽しく通える魅力ある学校づくりの推進、**不登校生徒への学びの保証を行い、子どもにかかわる情報共有の連携を図ることが必要。**

不登校児童生徒数の推移(大阪府 公立小中学校)



▲令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等、生徒指導上の諸課題に対する調査から



大阪府としては、スクールカウンセラーを中学校を中心に配置、令和3年度より小学校への派遣を拡充し**保護者の悩みに対応できるように働きかけている。**

令和5年度より、校内での子どもの居場所となる「校内教育支援ルーム」を設置する小中学校に支援人材を配置する事業を開始。子供の状況やニーズに合った支援を可能とするため支援人材や専門家と保護者がきめ細やかに対応することを進めていく。

学びと進路の補償について

Q 文部科学省の「COCOLOプラン」を受け、「学びの多様化学校」の設置も含め、総合的なプランニングが求められている。

未然防止から兆しの段階での早期対応、子どもたちの学びと進路を保証すべき。

保護者の相談体制について

Q 大阪府は、保護者の悩み等に対してどのような取り組みを行っているのか?

A (府教育長答弁)保護者の不安等が子どもたちに影響することもあり、悩みを相談し、子供と向き合えるようになることは重要。➤

A (府教育長答弁)不登校対策は喫緊の課題。**小学校から高校まで一貫した支援が必要。**

不登校を生み出しにくい学校体制づくりや、校種間連携の在り方、学習機会を保証するための多様な学びの場の充実に向けて、「**学びの多様化学校**」の設置も含めて総合的な対策を検討していく。

八王子市立高尾山学園を視察

R5年1月、東京八王子にある高尾山学園を視察。日本初の不登校特例校(学びの多様化学校)であり、登校しないまたは登校したくてもできない生徒のために20年前に設立された。小学4年生から中学3年生までの約110名の生徒を受け入れている。



▲この日出勤しているスタッフがわかる掲示板。大学生ボランティアを含めると実に100名ほどのスタッフが登録されている

広島県教育支援センター SCHOOL“S”を視察

R5年6月、広島県教育委員会が開設した不登校生徒のための居場所を視察。SCHOOL“S”は、居場所であり、つながる場であり、相談できる場であり、チャレンジできる場であり、秘密基地のようにワクワクする特別な場所、とのコンセプトに共感しました。この日も20名程度の生徒が、県内中から通っていました。



やえがし善幸 公式ホームページ

<https://www.yaegashi-y.jp>



■八重樫 善幸・プロフィール

大阪府議会議員5期。公明党大阪府議会議員団 団長。都市住宅常任委員会 委員。大阪府私立幼稚園振興議員連盟 副会長。関西宮澤賢治の会 副会長。岩手県北上市出身、県立黒沢尻北高、岩手大学農学部農芸化学科(生化学研究室)卒業。日本モンサント株式会社(現在ファイザー(株))でマーケティング、MRIに従事。